

葛飾区協働事例集

2018年版

葛飾区



葛飾区協働事例集

発行日：平成30年3月

発行：葛飾区

〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代表)

<http://www.city.katsushika.lg.jp>

編集：葛飾区政策経営部政策企画課

電話 03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン：株式会社 Jリポート

葛飾区協働事例集の発行にあたって



葛飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人とのきずなが強い土地柄です。そのため、かねてより様々な人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてまいりました。

このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。この特色を大切にするとともに、さらに大きく発展させて、本区と関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を生かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。

そして、この協働の取り組みが広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

現在も様々な形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、27団体に取材をさせていただきました。

今回で4冊目の発行となりますが、ご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただいております。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取り組みやそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた皆様にご心より感謝いたします。ありがとうございました。

平成30年(2018年)3月

葛飾区長 青木 克徳

葛飾らしい協働

葛飾区における協働とは、特定の目的に向けて葛飾区と連携するものだけに限らず、「葛飾区をより良いまちにしようとする活動すべて」を広く協働としてとらえています。

つまり、様々な活動をする人や団体などが、地域を良くしようという思いを持ち、お互いに理解・尊重しながら活動することが、葛飾区をより良いまちへとしていくための一歩になります。

みなさん一人ひとりが考える「葛飾区をより良いまちにしようとする活動」に取り組んでみてはいかがでしょうか。



食中毒から区民を守れ！ "正しい手洗い"を指導	33
葛飾区食品衛生推進員	
シニアを元気に！ 真の自立と社会参加へ	35
NPO法人 葛飾アクティブ.COM	
手話を学び社会に還元！ 聴覚障害者のサポートに力が入ります	37
手話サークル葛飾	
貧困、虐待、いじめ、ひきこもりの子どもたちに心の安全基地を！	39
NPO法人 ハーフタイム	
子どもたちも地域も元気だ！ "遊び"の若きリーダーが活躍	41
葛飾区ジュニアリーダークラブ	
15団体のネットワークで"不登校・ひきこもり"などを支援！	43
かつしか子ども・若者応援ネットワーク	
音符の読めない方でも大歓迎！ 合唱の楽しさを共に	45
葛飾区合唱連盟	
宙(そら)を観る人、語る人★ ワクワク感をボランティアが演出	47
葛飾区郷土と天文の博物館 天文ボランティア	
図書館は出会いと学びの場 活動を通じて楽しい図書館ライフを！	49
葛飾図書館友の会	
在宅医療が変わる！ 患者の搬送入院に新システム	51
一般社団法人 葛飾区医師会	
青色申告の普及へ 税を知る書道展開催	53
一般社団法人 葛飾青色申告会	
経営者と地域を元気に！ 税のオピニオンリーダーが応援	55
公益社団法人 葛飾法人会	
投票に行こう！ 呼びかけにねぎらいの声と素通りと・・・	57
葛飾区明るい選挙推進協議会	
<hr/>	
人材育成課からのお知らせ	● 採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します!! ... 59
協働推進担当からのお知らせ	● 葛飾区職員出前講座のご案内 61 ● 葛飾みんなの協働サイト 62

葛飾らしい協働	1
区長あいさつ	2
住民と区のパイプ役 協働まちづくりで表彰！	5
東立石地区まちづくり懇談会	
地域の意見を反映 まちづくりは区と協働で！	7
堀切地区まちづくり推進協議会	
絵画・彫刻 力作揃いの展覧会と“交流”の地域まつりで活性化！	9
新宿地域事業推進連絡会	
地域の高齢者を一人ぼっちにはさせない！	11
新小岩小松菜いちょう倶楽部	
火事だ！地震だ！！ いざ、女性市民消防隊	13
WRT大下 (Women's Rescue Team)	
大凧が舞うふるさと堀切に“凧大好き人間”が集う！	15
堀切大凧揚げ大会実行委員会	
アイデアと活気で勝負 おいでよ亀有、冬まつり	17
おいでよ亀有実行委員会	
新小岩生まれモンチッチも登場！ 防災訓練とイベントで地域活性	19
新小岩駅東北ひろばまつり実行委員会	
区内最大のスポーツイベント 盛況！ 区民大運動会	21
かつしかスポーツフェスティバル実行委員会	
異文化への誘いと、親しみと 広がる！ 国際交流の輪	23
かつしか国際交流まつり実行委員会	
笑いあり、涙あり、葛飾のアマ劇団が競演！	25
かつしか演劇祭実行委員会	
外来種！？ 身近な生きものを知って 生きものの命をつなぐ！	27
生物多様性推進協議会 かつしか生きもの調査部	
新開発！ 太陽の力で自動水やり！ 立体花壇フラワーメリーゴーランド	29
かつしか花いっぱいのもちづくり推進協議会	
ごみの減量とリサイクル 地域で取り組む環境美化	31
葛飾東清掃協力会	

住民と区のパイプ役

協働まちづくりで



犯罪や非行のない明るい
社会を築こう!と街頭
パレードなどで訴えている

東立石地区の住民と区のパイプ役として、安全で安心なまちづくりに取り組む東立石地区まちづくり懇談会。構成メンバーは、自治町会、民生・児童委員、青少年育成東立石地区委員会などで、住民の意見をまとめ区に要望・提言をしています。

同団体が主催する「東立石さくらまつり」は、長さ450mにわたり、かわばたコミュニケーション通りの八重咲きのサトザクラが来場者を迎えます。会場には焼きそばや豚汁などの模擬店が並び、葛飾交通少年団鼓笛隊のパレードなどで、まつりを盛り上げます。

また毎年、犯罪や非行のない明るい社会を築く大切さを訴えるため、地元小学校や学校OBを中心とした、街頭パレードを行っています。

この活動で、自治町会同士つながりが深くなったように感じますね

この活動を始めてからは、自治町会同士のつながりが深くなったように感じますね。

例えば、さくらまつりの模擬店は、どの自治町会がなにを担当するかは3年毎に変えているんです。そうすることで、仕込みや売り方などを教え合って、チームワークが良くなるんですよ。

イベント後には「反省会」で、お酒を酌み交わしながらの会話は親交をさらに深めることにもなり、楽しい飲み会になりますね(笑)。

活動は、センターまつり、地域活性化事業(さくらまつり)、敬老事業(敬老慰安会)、児童生徒健全育成(社会を明るくする運動)の4つの部会で、地域をつなげるネットワークづくりを進めています。

目指すは、やっぱり安全で安心なまちづくり。

区と連携して子どもから高齢者まで住民一人ひとりが住みやすい地域を一緒になってつくっていく。それが理想ですね。



会長：堀越 克夫さん



敬老事業部会が開催する敬老慰安会

東立石地区センターまつりは、たくさんの人で賑わいます



さらに、「地域の家族化」を目指し、8自治町会がつながり合い、高齢者の孤独死を防ぐため、見守りなどの情報交換もしています。

昭和62年から続く同団体の活動は、協働によって区民福祉を向上させた、として平成27年度葛飾協働まちづくり表彰を受賞しました。



(左から)地区センターまつり部会・海老澤 正廣さん/児童生徒健全育成部会・小熊 ムツ子さん/敬老事業部会・野口 幸子さん/地域活性化事業部会・荒井 憲一さん

東立石さくらまつりは、葛飾区以外からもたくさんの方が訪れ、桜とまつりを楽しんでいきます!



1 平成27年度葛飾協働まちづくり表彰を受賞

2 東立石さくらまつりや地区センターまつりを主催

3 “地域の家族化”を目指し、高齢者の孤独死を防ぐ見守りを実施

地域の
意見を
を反映

まちづくりは区と協働で!



魅力あるまちづくりに
しようと、話し合いにも
熱が入ります!

堀切地区まちづくり推進協議会は、地域の意見を反映した災害に強いまちづくりや、まちの魅力の強化・継承などを区に提案し、住民と行政が一体となったまちづくりを進めています。

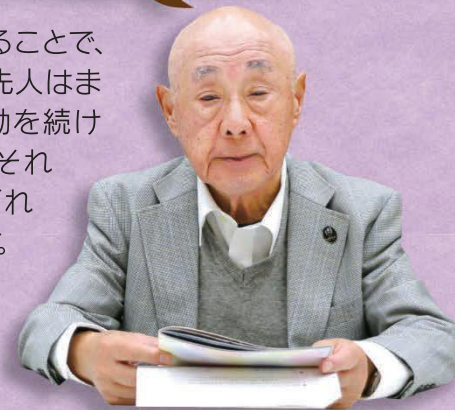
同協議会は、堀切地区の8つの自治町会や商店会、住民有志によって構成され、地域でまちづくりを考えるために平成18年に発足しました。平成22年4月、まちの将来像をまとめた「堀切地区まちづくり構想」を区に提案し、「誰もが、堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまちづくり」を目指して、これまで様々な取り組みを進めてきました。

その成果の一つとして、木造住宅密集地域の解消など、地域の防災性を向上させるため、具体的な整備構想を作成。区はこれを受けて、「不燃化特区」の指

まちの将来のため、住民が主体となったまちづくりを続けていきたいです

時間はかかりますが、将来のまちに夢を持ち続けて取り組んでいます。まちづくりは、住んでいる人が主体的に取り組むことが大切です。住民の皆さんが、この活動に参加して、下町風情の街並みなど堀切の魅力に気づいてもらい、新たなまちの魅力をつくっていければ、と思っています。住民のアイデアがいっぱい詰まった堀切のご当地キャラクター「ほりきりん」も魅力のひとつです。

この活動を継続することで、次世代の人たちが「先人はまちを良くしようと活動を続けていたんだ。我々もそれに続こう!」と思ってくれば、大変嬉しいです。これからも、堀切の魅力をもっとPRしていきたいです。



会長：岡田 明夫さん



堀切大凧揚げ大会でのPR活動



神奈川県伊勢原市の方々が視察に来ました!



定、「密集事業」の導入、「地区計画」の決定をしました。また、地域のご当地キャラクター「ほりきりん」を生み出し、まちの活性化につながっています。

活動は、区と協働で行い、現在、駅周辺の利便性の向上や賑わいの創出などをテーマとした検討も進めています。



協議会がつくった
ほりきりん
缶バッジ



災害に強いまちづくりに
向けて検討中



堀切かつしか菖蒲まつりで
まちづくりのアンケートを行っています



地域のキャラクター名がついたほりきりん公園(平成28年3月開園)



まちを歩いて、危険な場所を確認

- ココがPoint**
- 1** 「堀切地区まちづくり構想」を区に提案、区は「地区計画」などの決定
- 2** ご当地キャラクター「ほりきりん」を生み出し、まちの魅力強化
- 3** 区と協働し、「誰もが堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまち」を目指す

「交流の地域まつり」で活性化！
絵画・彫刻・力作揃いの展覧会と



力の入った作品が所狭しと
展示されました！

にいてん
新展(平成29年):前列中央が
区長賞受賞の今井ルミコさん

新宿地域事業推進連絡会は、新宿地域のコミュニティ活動の活性化イベント「ザ・にいじゆくフェスタ」を企画・運営しています。これは、新宿防災コミュニティセンター・にいじゆくプレイパークを会場に、大人も子どもたちも共に楽しみながら地域への愛着を深めることを目的に行われます。

このイベントは、毎年11月に開催、平成30年には記念すべき10回目を迎え、新宿小学校音楽部の演奏や都立葛飾商業高等学校のダンス、ポニーの引き馬、和太鼓ショー、そのほか、模擬店やクッキー、パン、アイスクリームの販売などが行われる予定です。

また、毎年6月には、住民のふれあいや学びの場を提供するために、地域展覧会「新展(にいてん)」を開催。平成29年

は、地域住民がつくった絵画・写真・書道・手芸など425作品(165名)の力作が出展され、来場者を楽しませました。

長年地域活動が続けてきた同団体は、今後も、住民相互の交流を促進していきたいと、積極的なコミュニティ活動に力を入れています。

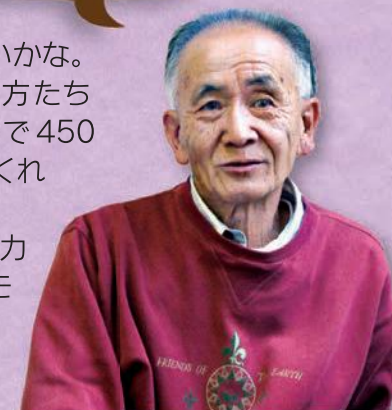
地元の小学生や団体などが、イベントで地域を盛り上げてくれています

「ザ・にいじゆくフェスタ」では、地元の小学生やパフォーマンス団体などが、この日の為に一生懸命練習を重ね、イベントを通して地域を盛り上げてくれています。活動を披露できる場をつくるのが、とても大事だと考えています。

地域展覧会「新展(にいてん)」は、小学生から90歳くらいまでの方が出展してくれるから、住民同士の交流の場としても役立っています。毎回、区長も来てくれて、地域に根差した活動とし

て認められているんじゃないかな。お隣さんとか、ご近所の方たちが大勢来てくれて、2日間で450人、皆さんとても楽しんでくれました。

こうやって、住民と区が協力して、新宿地区の地域運営モデル事業として頑張っているの、今後もいろんな人に見に来てもらいたいな、と思っています。



副会長：渡辺 豊さん



副会長：中木 均さん 会長：関 岩男さん



新宿小学校の子どもたちが
ダンスを披露



和太鼓盆踊り



新宿小学校の子どもたちが
音楽でまつりを盛り上げます



茶道部による野立



開会式

- ココが Point**
- 1** 「ザ・にいじゆくフェスタ」を企画・運営
- 2** 地区地域運営モデル事業として、新宿地区でスタート
- 3** 絵画・写真・手芸などを地域住民から募集、地域展覧会「新展(にいてん)」を開催



地域の高齢者を

一人ぼっちにはさせない!

新小岩小松菜いちよう倶楽部は、新小岩地区に住む70歳以上の一人暮らしや、自宅に籠りがちで友人のいないお年寄りなどを対象に、昼食会を通じて、お年寄りたちの交流と親睦を図るというテーマで活動しています。

昼食会は年3回開催され、毎回45人程が参加しています。昼食会には、葛飾の特産品である小松菜を使った料理を必ず1品加え、バランスの取れた昼食を楽しんでいます。献立などは、民生・児童委員が東京聖栄大学から栄養などについて学び、つくっています。この昼食会を何よりも楽しみにしているお年寄りは多く、今では交流の場としてすっかり定着しています。

また、折り紙や脳トレなどを習いたい高齢者にも参加してもらい、ゲームや、

メンバーの皆さんと
青木区長



新小岩小松菜いちよう倶楽部というネーミングは、葛飾の特産品である小松菜と、新小岩のかつてのシンボル・大いちょう(区指定)から取ったものです

工作・折り紙・絵を描くなど、刺激のある交流が人気を呼んでいます。倶楽部の構成団体は、自治町会、民生委員児童委員協議会、新小岩保健センター、高齢者総合相談センター新小岩などで、この協働事業は、区が活動場所を提供し、葛飾区社会福祉協議会から昼食会の材料費が支援されています。



絵や文字をかいて、うちわづくり
皆さん楽しそう!

孤独死が社会問題になって、活動に力を入れようと思いました

お年寄りの昼食会ですから、やわらかいものとか、材料選びはもちろん、衛生面にも気を付けています。スタッフの手洗いとか、衛生キャップをかぶるとか。皆さん、おいしい、おいしい、と言って食べてくれます。

一人での食事より、工作やおしゃべりをし、一緒に食事をするお友達ができ、とても喜んでいただいています。

活動場所の新小岩地区センターに

は、立派な調理室があるのでこうした活動ができるんです。

お年寄りの孤独死が社会問題になってきたころから、取り組まなきゃいけない問題だなあ、って思ってきたんですが、この活動をやってよかったです。地域のお年寄りを、一人ぼっちにはさせない。そんな思いで活動を続けています。



代表：倉谷 恭平さん

- ココが Point**
- 1** 高齢者の交流・親睦が目的の昼食会を開催
- 2** 昼食会のイベントでは、ゲーム・工作・折り紙などで脳のトレーニング
- 3** 区が活動場所を提供、葛飾区社会福祉協議会が昼食材料費支援

火事だ！地震だ！！

いざ女性市民消防隊



新たな防災の担い手であるWRT大下(※)は、東金町五丁目大下町会の、日中在宅する時間の多い女性だけで結成された市民消防隊で、隊員は16名です。活動としては、大規模地震を想定した初期消火の訓練や、女性らしいきめ細かな目線で、高齢者に対する見守りを行っています。区主催の市民消防隊操法大会では、お揃いのユニフォームに身を包み、演技隊として参加し、統制のとれた放水技術を披露。女性でも可能な消防操法を示し、区民の防災意識の啓発にも貢献しています。

日中に大規模地震などによる火災が発生した場合、地域にいるのは高齢者や女性だけで、思うような初期消火ができない、などの声は各地で聞かれます。しかし、大下町会では、女性たちが日頃

※Women's Rescue Team 大下



から訓練を積み重ね、いざという時に初期消火活動隊として立ち上がるため、地域としては何ともし難い限りのです。WRT大下ではさらに、金町消防団の指導のもとで、AEDによる救命救護技術の向上にも力を入れています。



女性だけで消防隊をつくろうと思ったときは、怒られるかと思いました(笑)

女性だけで消防隊をつくろうと思ったときは、地域の皆さんに怒られるかと思いました(笑)。私たちは微力でも、みんなで力を合わせればできるんだ、って思いますし、チーム力というか、地域で守るんだ！という情熱が活動の基軸になっていると思います。

ある保育園から、「有事に職員だけじゃ手が足りない。地域の助けが必要なんです」と言われ

ました。昼間、男性たちは仕事で地域にいないケースが多いですし、私たちの活動で、地域の防災意識をもっと高めたいです。防災というと、消火は男性で、女性は炊き出し、というイメージがあると思うんですが、我がまちは違います(笑)。

よく家で話しますが、いざという時、私は主人たちを助けてあげられるけど、主人たちは何もできないよね、って(笑)。



町会長：鈴木 進さん
防災部長：高子 富男さん

家族の協力があって活動ができるんですが、訓練に参加する協力も、主人たちにはもつとして欲しいです(笑)。

- ココが Point**
- 1** 日中在宅する時間の多い女性だけで結成された市民消防隊
- 2** 大規模地震時を想定した初期消火活動の訓練を実施
- 3** きめ細かな目線で、町内の高齢者に対する見守り活動を実施



いざという時に備えて訓練しています！(隊員の皆さん)

堀切に「凧大好き人間」が集う！
大凧が舞うふるさと



ただみ24畳分、重さ約30キログラムの大凧が上昇気流に乗って荒川河川敷の上空を舞う。親子連れの歓声が飛び交う中、子どもたちがつくった六角凧も、ぐんぐんと空高く飛ばしている。

昨年、第10回を迎えた堀切大凧揚げ大会は、堀切大凧揚げ大会実行委員会と区の教育委員会などが共催。実行委員会は、大会を盛り上げる企画を練り、安全面を考慮し、堀切各自治町会と一丸となつて大会を成功させています。

また、地域の子どもたちに凧づくりの楽しさを伝える「親子凧づくり教室」も開催。堀切中学校では「凧の総合学習」として、授業で1年生に六角凧のつくり方・揚げ方を教えています。

「凧という伝統文化」を通じて、子どもと大人が地域ぐるみで積極的に交流



12畳凧の前で記念撮影



連凧



お手製の凧



堀切中学校創立70周年を記念した24畳凧



六角凧



模擬店も大盛況



24畳凧の大きさにびっくり!



私たちは、1年中“凧”で動いています(笑)

大会に出て凧揚げをやった人たちは、「いやあ、良かった」「面白かった」つて、童心にかえてみんな大喜びです。

中学1年生たちは、凧のつくり方や揚げ方を授業で習っているんです。授業でやっているのは、都内では堀切だけだよ、つて子どもたちに言うと、気合いが入るみたいです。いい体験ですね。

凧のつくり方などは、私たちが教えています。堀切は、凧大好き人間が

いっぱいいるんですよ(笑)。

大会は年に1回ですが、事務局で面白い企画を練ったり、安全面について話し合ったり、また、授業で教えたり…。1年中、“凧”で動いています(笑)。

子どもたちが大きくなった時に、ふるさとの堀切にいたからこそ凧揚げを体験できたんだ、つて思ってもらえたら嬉しいです。そういう意味では、ふるさとづくりの一環でもありますね。



会長：一杉 昌宏さん



副会長：岡田 敏宏さん
事務局長：堀越 博さん



1 堀切大凧揚げ大会を開催

2 「親子凧づくり教室」を、区と協働で開催

3 地域ぐるみで“凧”という伝統文化を通じ、子どもと大人が交流



花のイルミネーションを
イメージした
「イルミネーション」

アイデアと活気で勝負 おいでよ亀有、冬まつり

世界的に有名な漫画「こちら葛飾区
亀有公園前派出所」の舞台となった亀
有は、国内外から多くの観光客が訪れ、
活気にあふれています。
そんな亀有をもっと元気に、より多く
の方に訪れてもらえるようにと、地元
自治町会・商店街・葛飾区観光協会・JR
亀有駅と区が協働して、「おいでよ亀有
実行委員会」を立ち上げました。

JR亀有駅前のイルミネーションでは、
区の花である花しょうぶをイメージし
た鮮やかな青い光が、訪れた人々を魅
了しました。クリスマスには、イルミ
ネーションをより楽しんでもらうために、
ゴスペルなどのコンサートも行いました。
「おいでよ亀有ウィンターフェスティ
バル」では、地域の有志で発案した直径
1mの大鍋でつくる「亀有千人鍋」を販

日本にこんな素敵なまちがあるんだって、知って欲しいな

最近では外国人観光客が増えてきてい
ます。台湾や韓国の方が多いですね。
これは漫画「こちら葛飾区亀有公園
前派出所」の影響が大きく、皆さん亀
有にある15体のキャラクター像を見
たり、亀有のまちを歩いて作品の雰
囲気に触れたりしていますよ。
最初は外国語対応などが上手くでき
ず、歯がゆい思いをすることもありま
したが、今ではおもてなしの気持ちを
きちんと伝えられるようになりました。

これからもまちとしての受け皿を
しっかりと作り上げ、国内外問わず
もっと多くの方に亀有を訪れてもら
いたいです。
亀有に来た時に、いいところだ、
こんなまちがあるんだって
知って欲しいですね。
そのために、実行委員会
を含めた亀有全体で、誘客
や活気づくりに取り組んで
いきたいね。



実行委員長：本宮 宏さん



亀有千人鍋で
心もカラダもあつたか!
冬の亀有の新たな名物に…



イルミネーションの点灯式。
青木区長、本宮実行委員長、
地元の子どもたちで点灯!

売、来場者のお腹と心を満たしました。
会場では、亀有地域のお店や自治町会
が出店した模擬店、手づくり・リサイク
ルマーケット、葛飾元気野菜の即売会、
亀有を巡るスタンプラリーなども行わ
れ、亀有の魅力をつぶりと伝えた一日
となりました。



模擬店で、亀有グルメを堪能!

点灯式では、プラスバンドの演奏が行われました

- ココが Point**
- 1** 地元自治町会、商店街、葛飾区観光協会、JR亀有駅、区との協働事業
- 2** 各実施イベントには地元有志がスタッフとして活躍
- 3** 新たな観光資源創出と魅力発信で、亀有を活気づける



地元の子どもたちも参加



©Sekiguchi



レーサー 吉岡一成さんとまちづくり協議会会長 三矢慶三さん
©Sekiguchi



新小岩
生まれ

防災訓練と
イベントで
地域活性化
モンテッチも登場！



新鮮野菜の直売



100円

モンテッチのレーシングカー！



©Sekiguchi

吉岡一成さんのレーシングカー展示&記念撮影会、モンテッチと写真撮影ができるARフォトフレームのPRなど、新しい取り組みを実施。様々な世代に魅力を感じてもらえるように、実行委員会、葛飾区、地元企業などの協働で企画・運営しています。



フリーマーケット

ビル屋上からの
避難訓練



©Sekiguchi

毎年秋に、新小岩駅東北広場・スカイデッキたつみで開催している新小岩駅東北ひろばまつりは、平成29年で4回目を迎えました。新小岩北地域の防災力向上や賑わいづくりを目的として、新小岩北地域の14自治町会・2商店会を中心に組織された実行委員会が主催しています。

主なイベントとして、本田消防署協力による臨場感あふれるビル屋上からの避難訓練、地元団体によるフラダンスなどのステージショーが行われました。

また、新小岩生まれのキャラクター！モンテッチとの触れ合いやフリーマーケット、新鮮野菜の直売、飲食の出店が、まつりを盛り上げます。

平成29年には、災害・測量ドローンの実証展示、モンテッチ愛好家のレーサー！

皆さん、「来年は、どんなことをやるの?」と楽しみにしているようです

新小岩駅東北広場・スカイデッキたつみは、完成以来、路線バスの運行本数の増加とともに利用者も増えてきてはいますが、まだ周辺の賑わいに波及してるとは言えません。

新小岩駅東北ひろばまつりは、こういった現状を地元住民が課題として認識し、東北広場を中心とした賑わいづくりや広場周辺の商業振興策を検討するきっかけづくりの場としてスタートしました。

皆さん、このイベントに期待してくれていて、「来年は、どんなことをやるの?」と楽しみにしてくれることが嬉しいですね。

新小岩駅北側地域を葛飾区の立派な南の玄関口といえるように、明るく楽しく遊んでいただけるまちづくりを目指して、これから若い世代と一緒に、地域の賑わいをつくっていきたいです。



実行委員長：石橋 裕さん

ココが
Point

1 「新小岩駅東北ひろばまつり」を企画・運営

2 地元住民の防災意識向上のために、消防署と連携し本格的な防災訓練を実施

3 新小岩北地域の14自治町会・2商店会、地元企業などと区の協働で開催

区内最大のスポーツイベント

盛況！
区民大運動会



区民に思う存分スポーツを楽しんでもらおうと、区内最大のスポーツイベントを企画・運営しているのが、かつしかスポーツフェスティバル実行委員会です。このフェスティバルは、毎年体育の日に行われ、平成29年で、42回目になりました。以前は「区民大運動会」として開催。平成4年からは「かつしかスポーツフェスティバル」として、奥戸の陸上競技場をメイン会場に、区内全体育施設や民間スポーツ施設などを活用した大イベントになりました。

当日は、運動会種目として、19地区対抗リレーや綱引き、大縄跳びなどが行われ、体育館では、体験教室プログラムとして、アーチェリーやビームライフル、卓球、少林寺拳法などが体験でき、競技に参加する子どもたちや声援を送る家



族たちで会場は熱気にあふれます。このフェスティバルは、実行委員会形式で、区の体育協会やスポーツ推進委員、青少年育成地区委員会らが協働して、実施しています。

いろいろなスポーツを体験して、視野を広げてもらいたいと思っています

この運動会は、子どもたちの大イベントでもあるんです。子どもたちが笑顔で楽しんでくれている、というのがとても嬉しいです。みんなの思い出にもなっているんです。“私の時は雨だった”“あの時はこうだった”というような話を後でよく聞きます。人々の心の中で、思い出として残っている…。やってきてよかったなあ、と思います。また、このフェスティバルは、単なる運動会ではないんですね。自分が

やっているスポーツだけでなく、いろいろなスポーツを体験できるんです。ですからもっと体験して、視野を広げてもらいたいなあ、って思っています。運営面での苦勞ですか？ 応援する大人たちに、“このラインから入らないでください”って何度呼びかけても、入ってきちゃう。お子さんが可愛いのはわかりますが、ルールを守ってくれると嬉しいです。



体育協会副理事長
実行委員長：吉田 尚さん



スポーツ推進委員協議会
会長：矢作 和昭さん



- 1 「かつしかスポーツフェスティバル」を企画・運営
- 2 体験教室プログラムで、さまざまなスポーツを体験できる
- 3 区の体育協会、スポーツ推進委員、青少年育成地区委員会らと協働

広がる！異文化への誘いと親しみと
国際交流の輪



よさこいソーランで
大いに盛り上がる会場

葛飾区に住む外国人との交流を深めようと、かつしか国際交流まつり実行委員会は、毎年「かつしか国際交流まつり」を企画・運営しています。

実行委員会は、国際交流ボランティア団体（日本語教室）などで構成され、毎年秋に、かつしかシンフォニーヒルズ別館で開催、平成29年は外国人や日本人の家族連れなど約1500人が来場しました。

華やかなインドダンスや中国服ファッションショーなどのパフォーマンスで盛り上がる会場は、異国情緒が満点。外国人が日本での生活で感じたり、発見したことを発表する「外国人による日本語スピーチ大会」や、英語・中国語・韓国語を学ぶと題した「よくばり！外国語講座」など様々なプログラムが行われました。

交流まつりに携わって25年… このイベントは、僕の人生そのものですよ

僕は第1回目から実行委員として関わっています。マレーシアへの派遣に参加し、その翌年に派遣メンバーで1回目の交流まつりを行い、それ以来続けています。いろんな人との出会いがあり、やりがいもあるので、この活動を次の世代に残したいと思って続けています。もう人生そのものですよ。

イベントの評判ですか？年々上がってきています。異文化に触れたい、外国語を覚えたい、という声は多いですから。葛飾でこういうイベントをやること

は素晴らしいことだ、と言ってくれる方もいます。

このイベントを続けるためにも、後継者の育成が課題だと思っています。それは実行委員会だけの問題ではなく、参加している各団体も若手の育成が課題で、それをクリアして、このイベントをもっと盛り上げていきたいですね。平成30年は25周年で、記念の年ですから規模を大きくして開催する予定です。



実行委員長：
加藤 雅之さん



華やかなインドダンスに
思わずカメラでパチリ！



また、区と海外都市との「交流都市紹介展」では、平成29年に区からマレーシア・アペナン州への派遣に参加し、7日間のホームステイをした5人の団員が海外での貴重な体験を報告、会場に訪れた区民の方々の興味をそそぎました。



書道体験



大道芸猿回し



多彩な民族衣装



和気あいあい！



折り紙講座



民族衣装の方には、
粗品を進呈しました



実行委員会の様子



1 毎年、かつしか国際交流まつりを企画・運営

2 外国人や日本人の家族連れなど約1500人が来場

3 葛飾区文化施設指定管理者との共催イベントの実施

笑いあり、涙あり、葛飾のアマ劇団が競演!



チラシ配布の準備中
これも、裏方の大事な
作業です

かつしか演劇祭実行委員会は、区内を拠点に活動するアマチュア演劇団体などで構成され、年に1度、区内最大のアマチュア演劇イベントを開催しています。「かつしか演劇祭」と銘打ったこのイベントは、毎年、かめありリリオホールで行われます。26回目となる平成30年1月には、6団体が参加、2日間で1400人を超える来場者がありました。

参加した団体は、都立葛飾総合高校演劇部をはじめ、実行委員長の畔上さんが4代目座長を務める「劇団蓮（REN）」、笑って、泣いて、心温めて…のお芝居が定評の「LUCE（ルーチェ）」、宮沢賢治作品を取り上げた「《かさね》朗読の会」、人生を教えてくださいる本と出会いたいために誕生したという「まひるアクターズ」、子どもから大人まで楽しめる

「たくさんの団体が見られて良かった」という声を聞くと、疲れも吹っ飛びます

かつしか演劇祭は、回を重ねるごとに、徐々にですが、まちぐるみで認知されてきたと思います。お笑いあり、涙あり、といろんな劇団が出ますから、皆さん楽しめていると思います。

ええ、お客様の反応もいいですよ。演劇が終わった後で、「頑張っていたわね」とか「来年も見に来るよ」などと声を掛けられます。「たくさんの団体が見られて良かった」という声は、実行委員会としても嬉しいですね。公演まで、

周知方法とかであれこれ悩み、亀有の商店街に協力してもらったり、自分たちでチラシを配ったりしているのですが、そんな声を聞くと疲れも吹っ飛びます。

参加する劇団も、この公演をきっかけに、新しいお客様ができて、やりがいはあると思いますよ。協働事業ということで、区には劇場を押さえてもらったり、感謝しています。



実行委員長：畔上 義夫さん



劇団 蓮 (REN)



LUCE (ルーチェ)



都立葛飾総合高校 演劇部



パーツ・パフォーマンスアーツ



まひるアクターズ



《かさね》朗読の会



平成30年
かつしか演劇祭
出演者一同

Photo by Isamu Koda

- 1** 年1回、アマチュア演劇イベント「かつしか演劇祭」を主催・実施
- 2** 多くの来場者を集め、総合芸術である演劇の振興に寄与
- 3** 葛飾区文化施設指定管理者との共催イベントの実施

外来種!?

身近な生きものを知って

生きものの命をつなぐ!



生物多様性とは…
地球上のヒトや動物植物などの生物は、一種だけでなく、直接的・間接的にたくさんさんの生物と関わり合っており、そうした生きものつながりを、生物多様性といえます。



小学校での生きもの出前講座

生物多様性推進協議会の部会の一つであるかつしか生きもの調査部では、区内の水辺を中心に、身近な生きものについて知ってもらうためのイベントを、年1回行っています。

区内に生息している生きものには、カダヤシ、ブルーギル、ブラックバスなど、特定外来生物に指定されているものもあり、注意が必要です。特定外来生物は原則飼育が禁止されています。しかし、そのことを知らなかったり、メダカにそっくりなカダヤシを、勘違いして飼育してしまうことがあります。

そこで、子どもたちに身近な生きものや外来種について知ってもらうと、「外来種啓発用下敷き」を、区内の小学4年生に配布したり、「生きもの出前講座」を小学校で行っています。講座では、



アメリカザリガニ(外来種)の説明に、大人も子どもも興味津々

子どもたちが校庭で虫などを捕まえて、じっくりと観察します。これらの活動は区と協働で行っており、これからも区民に身近な生きものについて知ってもらい、生物多様性の重要性を伝えていきます。



校庭でトンボを捕まえた!



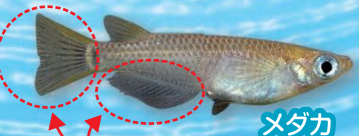
四つ木めだかの小道



曳舟川親水公園



生きもの出前講座



メダカ

ココが違う!



カダヤシ(外来種)

- 1** 生きもの調査イベント(一般区民向け)を、年1回実施
- 2** 小学校への「生きもの出前講座」
- 3** 「外来種啓発用下敷き」を作成し、区内の小学4年生に配布



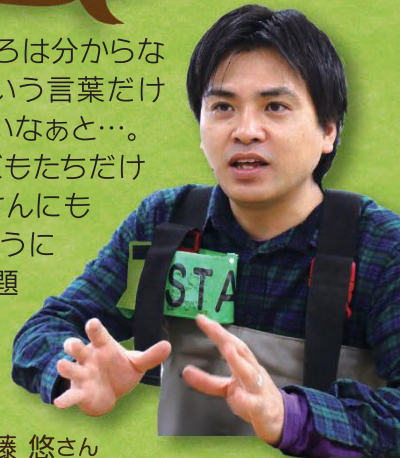
水の中の生きものを知る経験が、自然を知って伝えるきっかけに…

水の中にどんな生きものがあるんだろうって思う気持ちは、子どもたちにとって大事なことだと思うんです。水辺は危ないから近寄るなという意見もあります。でも、安全を確かめて水に入り、生きものを探したりすることで、大人になった時、今度は子どもたちに自然ってこういうものだよって伝えてもらえるのではないかと思います。

まずは楽しんでくれること、それがいちばんだと思います。子どもたちですから、

生物多様性の難しいところは分からなくても、まずは外来種という言葉だけでも知ってもらえるといいなあ…。

実はイベントの際、子どもたちだけでなく、お父さん、お母さんにも生きもの説明をするようにしています。ご家族で話題にしてもらうことが、より自然を知ることにつながると思っています。



部会長: 齊藤 悠さん

太陽の力で自動水やり
ソーラパワー
新開発!
立体花壇
フラワーメリーゴーランド



太陽光
発電で自動
水やり

360度
回転できて
日当たり
抜群

設置面積
1m²

ちいさなスペースで設置可能!
自動水やりでとても便利な
「フラワーメリーゴーランド」



都立農産高等学校の皆さん



NHK (テレビ局) 取材の様子



員や都立農産高等学校、葛飾造園災害対策協議会、そして民間企業などで構成し、オブザーバーとして千葉大学の渡辺均准教授をお迎えしました。

フラワーメリーゴーランドは、平成30年度に製品化し、本格導入される予定です。また、東京都の「花の都プロジェクト」(※)に採択され、平成29年9月に東京2020公認プログラム「フラワーメリーゴーランド」でもおもてなしがスタートしました。

これは、平成28年4月に立ち上げた「どこでも水やりおまかせ型フラワー立体花壇プロジェクトチーム」が考案した「フラワーメリーゴーランド」で、自動制御で水やりする立体型の花壇です。すでに試作品をつくり、自動灌水式立体的植栽システムとして、特許申請を行いました。この立体型花壇は、太陽光パネルで発電し、タイマー式自動水やり機能を備え、ポットを吊り下げた輪が8段あり、104株が植えられます。プロジェクトチームは、緑化推進協力

かつしか花いっぴいのまちづくり推進協議会は、これまでの花壇やコンテナなどによる花いっぴいのまちづくり活動に加え、新たな手法による公共空間での展開を計画、実証実験を進めています。

※「花の都プロジェクト」オリンピック・パラリンピックの東京2020大会に向け、花と緑で街を彩り、おもてなしの機運を高めるプロジェクト。

フラワーメリーゴーランドでおもてなしをする気運が、高まってきました



TOKYO MX (テレビ局) の取材を受けました

ココが Point

1 自動灌水式立体的植栽システムとして、特許申請

2 東京都の「花の都プロジェクト」に採択される

3 緑化推進協力量員、都立農産高校、葛飾造園災害対策協議会、民間企業、千葉大学、区との協働事業

メリーゴーランドは試行錯誤を重ね、試作品ができて、やっとここまで来たなあ、という思いです。これからのいよいよ区民の方と一緒に、メリーゴーランドで花を育てながら、葛飾内外の人たちにおもてなしをしようと、気運が高まってきました。

こういうプロジェクトは、普通だと区役所の会議室などで会議をやると思うんですが、それだと言いたいことも言えない(笑)我々は、メンバーの農家に集まって、月に数回製品のアイデアを出し合ってきました。とて

もいいものができたと思います。今回、亀有駅などに試作品を設置したんですが、「これはすごいね、誰がつくったの」なんて注目されています。区民の反応がすごくいいです。駅前が華やかになって良かったと思

います。「これ、どうやって水をやるのかなあ」なんて声も聞かれます。この企画で、「花の都プロジェクト」にも参加できて、嬉しいです。

プロジェクトチームの皆さん



プロジェクトリーダー
清水 一郎さん

びみ

の減量とリサイクル

地域で取り組む環境美化



※かつしかルールとは…
ごみ減量やリサイクルのための重点的な取り組み。平成25年度からは「生ごみの減量」および「雑紙(ざつがみ)を分別し、資源にする」の2つをルールにしている。

葛飾東清掃協力会は、81の自治町
会で組織され地域におけるごみの減
量や環境美化に取り組んでいます。
主な活動としては、毎年6月から
11月までの間に、東金町など7つの地
区センターで地区別清掃懇談会を開
催、婦人部会や自治町会の皆さんが、
かつしかルール(※やりサイクルなど)
に関する情報の共有・意見交換などを行っ
ています。参加者たちは、資源になる
ごみ・ならないごみの分別ゲームに参
加し、正しい分け方などを学びます。懇
談会で行った区の職員との質疑応答や、
ごみの減量やリサイクルに関する情報
などを掲載した「ごみスリム」という区
民向けの情報誌も発行しています。
また、葛飾清掃工場やリサイクルの
施設見学会も行い、清掃工場では、収集

家族が協力し合って、ごみの削減を！とみんなに、言っています



会長：大山 安久さん

当初ごみの問題は、よくわからな
かったんです。男の場合は、どうして
も女性頼りになってしまって…。でも、
活動を始めて、正直これは大事な問
題だなあ、と。今では、「家族全員で
やらないと意味がないので、協力し
合いましょう」と言っています。
以前は不法投棄が多かったまちも、
今は随分きれいになりました。地域住
民に向けた懇談会でも、区の職員た
ちが分かりやすく説明してくれて、
参加した人たちはごみの問題が

よく分かると思います。
若いお母さんたちにもっと参加
してもらい、リーダーになってもら
いたいと思っています。
ごみの問題だけでなく、行政
に対して地域は今まで“受け身”
でした。でも、地域が元気になるに
は、受け身じゃなくて先頭に立たな
ければ…。行政は後からついて来て
ください、ぐらいいならないとい
けませんよね(笑)。



婦人部会長
鈴木 良子さん

3 葛飾清掃工場やリサイクル施設の見学会を実施



車が運んできたごみが焼却
処理される工程などを見学し、
自宅から出たごみがどのように
処理されるのか、を区民に体感
してもらっています。
葛飾東清掃協力会は、
区と地域住民とのパイプ
役として協働事業を推進し、
ごみの減量や環境美化の普及
啓発に取り組んでいます。



埋立処分場を見学



2 ごみの減量・リサイクルに関する情報誌「ごみスリム」を発行



地区別清掃懇談会での区との意見交換



参加者に、「資源になるごみ・ならないごみ」をクイズで知ってもらおう



1 地区別清掃懇談会を開催、環境問題に関する広報活動を行う



食中毒から区民を守れ！

正しい手洗いを指導



「食品衛生推進会議」の様子



葛飾区食品衛生推進員は、区長の委嘱を受けて、区民の食生活の安全・安心を推進するサポートをしています。主に、食品等事業者からの相談に対して助言を行うほか、地元自治町会、小学校、PTAのOB会などで食中毒予防の啓発や手洗いの指導をするなど、地域に貢献する活動をしています。



手洗い指導では、蛍光塗料を手に塗って、塗料が落ちるまできれいになったかをチェックする「手洗いチェッカー」という器具を使って、洗い方を教えています。また、区民・食品等事業者・行政の3者による、食の安全・安心に関する意見交換会（リスクコミュニケーション）に参加

食中毒は怖いです。注意喚起をしていく活動が重要です

手洗いは、子どもたちに浸透してきましたね。学校の登下校時に道路で寝転がったりしていても、手はちゃんと洗う子どもたちが多くなってきました。

最近イベントなどでもかなり食品関係の模擬店が出ています。食中毒は怖いですが、注意喚起をしていくことが重要な、って思います。

また、「寄生虫や家庭用調理器具などの衛生」をテーマにした意見交換会では、実際にサバなどに寄生するアニサキスを観察したり、キッチン用スポンジを検査

したりするなどして、皆さんの衛生意識の向上につなげられたと考えています。

私たちの活動は、10年ぐらい前までは、主に食品等事業者が対象だったんですが、ここ最近は活動の幅が広がって、学校や地域の団体などで衛生面の話をする機会が増えました。

皆さん、食の安全に気をつけるようになってきたんですね。



葛飾区食品衛生推進員 (葛飾区食品衛生協会 会長) 茂木 明治さん



し、食品の安全性やリスクに関する相互理解を深めています。さらに、年2回、葛飾区保健所が開催する食品衛生推進会議に出席し、地域の食品衛生の向上や、食品等事業者への自主管理に関することなどを話し合い保健所長に提言しています。



手洗いチェッカー

蛍光塗料を塗り、手洗い後に手を入れると、洗い残しが光って一目でわかります。



- 1 食品等事業者からの食品衛生に関する相談に対して助言などを行う
- 2 「手洗いチェッカー」を使った、手洗いの指導
- 3 区民を対象に、食中毒予防や、食の安全などについて啓発

シニアを元気に! 真の自立と社会参加へ



最近、タブレットの使い方を覚えてたい人が多いんです!

「シニアを元気に!」を合言葉に、シニアの自立した生活の実現と、積極的な社会参加を目指し、NPO法人葛飾アクティブ.COMは活動しています。
平成16年に誕生した協働事業の草分け的存在で、会員は約360人、平均年齢は73歳です。

主な活動は、シニアの居場所づくりとして、シニア活動支援センター内で、「シニア・活動情報サロン」を運営し、フラダンスやパソコン講座などのサークルや事業活動、軽食喫茶カフェ「hachi」を開いています。「活き生き健康麻雀サロン」には、年間延べ1万8000人程が参加します。また、「ミニコミ誌「かつしかまちなび」」を発行しています。



地域住民を元気づけ、楽しんでもらう。年はとってもアクティブです

創立以来「シニアを元気に!」をキャッチフレーズにして、区の2施設を拠点に活動をしています。元気なシニアが、仲間づくりの輪を広げる活動を続けてきましたが、さすがに16年もやっていると、会員も年を取りました(笑)。
ただ、原点である「シニアを元気に!」というコンセプトは持ち続けていかなければならない、と思っています。
入会していただいた会員さんたちは、「ああ、こんな楽しい場所があったんだ」と言ってくれます。私たちの活

動は、居場所づくりでもあるのでそう言うだけなのは嬉しいですね。活動の場を提供して下さる区には感謝しています。
私たちは、介護予防支援と社会参加支援を柱に、活動しています。地域住民を元気づけ、楽しんでもらうことに加え、健康づくりにも力を入れ、年はとってもアクティブにいきたいと思っています。



代表:太田 敬さん



ITサロンでランチタイム、いつもワイワイ仲間と食事を楽しんでいます



健康フラサークル



イベントのお弁当づくり



地域交流まつりの様子(水元憩い交流館)



シニア健康麻雀区民大会には、サロンのメンバーが大勢参加しました

近年は、介護予防にも力を入れ、定期的に「認知症サポーター養成講座」も開催しています。
さらに、区から水元憩い交流館の管理・運営や、そこで行われるシニア向け講座などの運営を受託しています。今後は高齢化社会のニーズをくみ取り、「提案する協働」を目指して、活動の輪を広げていく方針です。

健康ダーツ教室
初心者も大歓迎!



ウォーキングで
柴又七福神へ



子どもたちと
竹とんぼづくり



ミニコミ誌「かつしかまちなび」製本の様子。最後は恒例、ホッチキス留め作業

- ココが Point**
- 1** 介護予防支援・社会参加支援を柱に活動
- 2** シニア活動支援センター内で「シニアIT・活動情報サロン」を運営
- 3** 区から「シニアの居場所」の提供を受ける協働事業の草分け的存在

手話を学び 社会に還元!

聴覚障害者のサポートに力が入ります



皆さんとても熱心に
手話技術を習得しています

手話を学び、社会に還元していくつ！
をスローガンに、手話サークル葛飾は、
聴覚障害者へのボランティア活動に取り
組んでいる団体です。聴覚障害者の団
体である葛飾区聴覚障害者協会と連携
した協働事業を行い、160人程が活
動しています。

主な活動としては、「小・中学校、高校
への出前ボランティア」で、手話の体験
授業を聴覚障害者と一緒に行い、昨年は
約20校で開催しました。子どもたちは、
「こんにちは」など基本のあいさつや自
己紹介を、手話で体験します。

また、ウエルピアまつりや、亀参まつ
りなど区内で開かれるイベントにも積
極的に参加し、手話劇や手話体験など
聴覚障害者への理解を深める活動を
行っています。週に1度の定例会では、



手話技術を習得、聴覚障害者を取り
巻く法律や、障害者福祉制度などの講
演会も開いています。聴覚が不自由
なことで、災害時の不利益をなくすた
めに防災学習会なども行い、メンバ
ーたちは、サポート体制の強化を進め、手
話を区内に広める担い手になっています。



工夫がいっぱいの手話劇
「桃太郎」は、ウエルピア
まつりで熱演! 大評判でした



活動の賛同者が増えてきたので、やりがいを感じます

イベントなどに参加すると、「サー
クルは、どこで活動しているんです
か」とか「難しそうだけど、やってみ
たいです」などと声をかけられます。
活動に賛同してもらえる方が、
ちょっとずつ増えてきたのでやりが
いを感じています。

手話を通じて、聴覚障害者と健聴
者がわかりあえる、そんな場面に数
多く立ち会っています。一方で、東
日本大震災の時に避難のアナウンス
が聞こえなかったばかりに亡くなっ

たケースなどを知らされると、
聴覚障害者の皆さんへのサポ
ートを私たちがしっかりやらな
ければ、って力が入ります。

「手話はできないけれ
ど、社会福祉の活動には
興味があります」という
方もいます。ボランティ
アをしたい方には、手話
が上手でなくても一緒に
活動できることがあるの
で、ぜひ参加してください。



(左)代表: 小林 美代子さん
(右)田村 和子さん



ココが
Point

1 小・中学校、高校への
出前ボランティアで
手話の体験授業開催

2 手話技術の習得や、障
害者を取り巻く、法律
などの勉強会も行う

3 災害時の不利益を
なくすための防災
学習会を開催

貧困、虐待、いじめ、ひきこもりの
子どもたちに
心の安全基地を！



NPO法人ハーフタイム
設立記念シンポジウム

テーマ：子どもたちの居場所づくり～今日からわたしができること～

家でも学校でもない、「居場所」を提供し、ストレスを抱える子どもたちの「心の安全基地」をつくっているNPO法人ハーフタイム。

これまで、50人以上の子どもに対する社会的自立への援助と、保護者への子育てに関する相談を行ってきました。貧困、虐待、いじめ、ひきこもりなど、寄り添いが必要な子どもに対して、一人ひとりに合わせた支援をしています。

主な活動は、金町、立石、高砂の3か所で、公共施設などの一室を利用して、子どもが自由に過ごせる居場所をつくっています。この居場所には、大学生を中心に、ケースワーカー（相談員）や弁護士など約30人のボランティアが交代で集まり、生活相談や学習支援を行っています。

“生きづらさ”を抱えた子どもたちが、自信を持てるよう支援します

ボランティアの大学生は、子どもたちの一番身近なロールモデル（お手本）になるんです。彼らの姿を見て、「僕が大学生になったら活動を手伝うよ」「将来は、介護福祉士になりたい」といった子どもたちがいることは、凄く嬉しいですね。

この活動では、子どもとのコミュニケーションを通じて、たくさんの学びを得ることができます。「子どもへの接し方にマニュアル

なんてないよ、一人ひとりの事情に合わせて柔軟に対応することが、社会に出て役立つよ」と、学生ボランティアからも教えられました。

まだまだ多くの支援が必要な子どもがいます。地域に必要なこの活動を継続していくためにも、事業化することが目標ですね。

これからも「子ども一人ひとりの思いに寄り添う」を合言葉に、さまざまな生きづらさを抱えた



理事長：石原 啓子さん

子どもたちが、自信を持って生きられるよう支援していきます。



バーベキューレクリエーション
焼きそばをつくりました！



みんなで上野動物園へ



ボランティアの皆さん

また、月に1〜2度、子どもたちのアイデアから生まれたバーベキューや料理教室などのレクリエーションを行い、子どもたちの自己表現の場としても機能しています。

葛飾区の「地域活動団体事業費助成金」を受けながら、子育て応援にも力を入れていきます。



餃子パーティ



模擬面接



メイク女子会



オムライスをつくりました



公園で花火

- ココが Point**
- 1** 金町、立石、高砂の3か所で、子どもが自由に過ごせる居場所を提供
- 2** 約30人のボランティアが交代で、生活相談や学習支援を実施
- 3** 月に1〜2度、バーベキューや料理教室などのレクリエーションを行う

子どもたちも
地域も
元気だ！

遊びの若きリーダーが活躍



ジュニアリーダー講習会とは…
中学生から受講でき、リーダー
として必要な知識や技術を習得
する講習会で、初級・中級・上級
とランクがある。

葛飾区ジュニアリーダークラブ
は、地域における子ども会の発展
に最大限努力することを目的に、
昭和52年に設立され、平成29年に
40周年を迎えました。クラブ員は、
現在40人程で、葛飾区ジュニアリー
ダー講習会を修了した22歳以下の
メンバーで構成されています。

クラブ員たちは、葛飾区子ども会
育成会連合会に所属し、子どもたちの遊
びのリーダー役として、KII危険、YII
予知、TIIトレーニングの合言葉で、安
全性に注意しイベントを盛り上げます。

活動は、「葛飾区子どもまつり」や「少
年キャンプ村」、「はたちのつどい」か
つしかスポーツフェスティバル「わんぱく
相撲葛飾区大会」の運営などです。

こうした活動で、地域の子もたち



亀参まつり



少年キャンプ村



わんぱく相撲葛飾区大会



の支えになり、地域貢献に寄与するこ
とを、葛飾区ジュニアリーダークラブ
宣言でつらっています。事業は、区の教
育委員会との協働事業として実施され
ています。



葛飾区子どもまつり



皆さん、ぜひ私たちを知って、イベントに呼んでください

ある子ども会から、レクリ
エーションのプログラム1日分
を立ててください、って言われ
たことがありました。その時、
信頼されているんだなあ、っ
て感じて、嬉しかったです。

平成29年は、子どもたち90
人を連れて、茨城県の白浜少年
自然の家でキャンプをしました。
バス3台での移動は、規模が大
きくて大変でしたが、それだけ
やりがいも感じました。

子どもたちに直接関われる
のが、何よりも楽しいです。後
輩なのに子どもとしっかり向
き合うメンバーもいれば、先輩
なのに子どもに振り回されて
いる人もいて面白いです。勿論、
“遊び”の教え方は、さまざま
でいいと思います。

まちで子どもたちに会うと、
よく声を掛けられ、そんな時、
この活動をやっていて良かった
なあ、って思います。ジュニア



(左)会 長:宇田川 智加さん(19歳)
(右)元会長:五十嵐 友歌さん(21歳)

リーダークラブは、まだまだ認
知度が少ないので、皆さんぜひ
私たちを知って、イベントに呼
んでください。



ココが
Point

1 「葛飾区子どもまつり」
など、子ども会と地域
の“元気”をサポート

2 子どもたちの遊びの
リーダー役として活躍

3 葛飾区子ども会育成
会連合会に所属し、区
の教育委員会と協働



講演会の様子
1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念「壁なんて破れる!パラリンピック金メダリストの挑戦」



かつしか区民大学の講座には、多くの親たちが参加し、話し合いました

かつしか子ども・若者
応援ネットワーク

不登校・ひきこもりなど

15団体のネットワークで

を支援!



不登校・いじめ・発達障害・
貧困など、テーマ別懇談会
の様子(かつしか区民大学)

を超え、いろいろな角度から、相談・助言をしているのが特徴です。
また、当事者の親たちが話す場として「親カフェ」を開き、同じような経験をした人たちの知恵なども参考に、問題解決に取り組んでいます。

かつしか子ども・若者応援ネットワークは、不登校やひきこもりなどで学校や社会での生活が困難な子ども若者への支援活動をしています。
このネットワークは、いじめや発達障害、ひきこもり、不登校、外国籍の問題などに係る様々な専門家約20人余りが活動し、15団体と個人で構成されています。
活動は、子ども・若者支援の課題を取り上げた区民向けの講演会や、当事者や親たちが話し合う学習会を教育委員会と協働で企画・運営。また、活動を紹介した冊子などをつくり、情報発信しています。
相談内容は、単に不登校といっても様々な原因が絡み合っているケースが多く、専門家たちがそれぞれの「垣根」



当事者や保護者の方は、自分たちだけで悩まずに…ぜひ相談を!



世話人: 石 歩さん

ひきこもりや不登校などで悩んでいる当事者は、自分で自分を責めています。それでどんどん苦しくなっています。それを親がどうかしようという思いが逆効果になる場合もあります。

私たちネットワークのドアを叩くまでにはかなりのハードルがあると思うんです。地域の方の理解が深まっていけば、そういうハードルが低くなっていく

のですよね。そういったハードルなり、偏見がなくなっていけばいいなあ、というのが活動の大きな目標なんです。

このネットワークを利用してもらえる方が、徐々に増えてきました。相談者に早く適切な対応が見つかって、解決策が見出していたら、私たちにとっても嬉しいですし、お役に立ちたいと思って活動しています。



代表: 森 健さん



ココがPoint

- 1 子ども・若者支援をテーマに、かつしか区民大学講座を企画・運営
- 2 かつしか進路フェアなどのイベントで相談活動の実施
- 3 親たちが話し合う場として「親カフェ」を開催



合唱祭 合唱の部 表彰式



チャリティーコンサート 寄付



チャリティーコンサート 寄付



大韓民国ソウル特別市麻浦区立合唱団 来日コンサート前夜祭



合唱講習会



第30回 葛飾区合唱祭

主催 / 葛飾区合唱連盟・葛飾区教育委員会

合唱祭

第30回は
32団体が参加
日頃の練習の
成果を発表
しました

資金積立基金に寄付 しています。
こうした合唱事業は、チャリティーコ
ンサートを除き、区の教育委員会と共催
で行っています。また、葛飾区の文化芸
術交流に参加、大韓民国ソウル特別市麻
浦区や千葉県市川市と交流し、活動の
輪を広げています。



大韓民国ソウル特別市麻浦区立合唱団 来日コンサート

音符の読めない方でも大歓迎！ 合唱の楽しさを共に

葛飾区合唱連盟は、区内の合唱団22
団体が加盟し、参加団体の技術を上げ、
区民に合唱活動への関心と参加意欲を
持ってもらえるよう、文化芸術活動を推
進しています。

毎年6月には「合唱祭」、11月3日の
文化の日には、「葛飾区民文化祭(合唱
の部)」を開催。共に800人程の来場
者があり、「合唱に興味を持った」とか
「合唱の素晴らしさに感動した」などと、
区民から賞賛の声が上がっています。

誰でも気兼ねなく参加でき、合唱を
楽しめるように外部から講師を招き、
年2回、合唱講習会も開いています。こ
の講習会は、音符の読めない初心者の方
加も大歓迎です。さらに、12月か
ら1月の間には、チャリティーコンサ
ートを行い、皆様のご浄財は、葛飾区奨学

合唱、と言っても敷居は高くありません。御一緒にステージへ

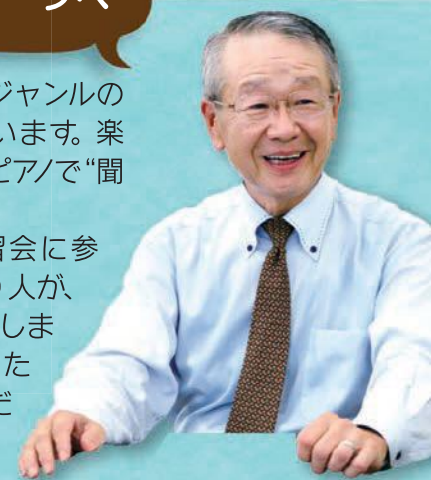
お蔭さまで、合唱祭などを開くと
お客さんは昔と比べ増えました。区
内の合唱団に連盟に入ってもらい、
組織づくりを進めた功績は、藪崎英
和前理事長と増岡はるみ先生の力が
大きかったのです。

皆さん、合唱というとクラシック
で、澄み切った声で、バッハなどの大
曲をやっている敷居が高いイメージ
があるようです。でも、そんなこと全
くありません(笑)。

歌謡曲もあれば、ミュージカルや

シャンソンなど、いろんなジャンルの
合唱で、楽しんでもらっています。楽
譜が読めなくても、先生のピアノで“聞
き覚え”ができます。

昨年の合唱祭では、講習会に参
加した一般の初心者約100人が、
ステージに上がり歌を披露しま
した。皆さんとても感動した
ようです。私でも歌えるんだ
なあ、って思ってもらえれ
ば…。音楽をもっと楽しん
でください。



ココが
Point

1 「合唱祭」、「葛飾区民
文化祭(合唱の部)」を
開催

2 初心者の参加も大歓迎！合唱講習会を年
2回行っている

3 市川市と文化交流。
互いの合唱祭などに
参加し合う

宙(そら)を観る人、語る人★

ワクワク感を感じながらボランティアが演出



星を見たり、宇宙を知った時のワクワクした感動をお客様に提供しよう！
こうした理念を掲げ、葛飾区郷土と天文の博物館天文ボランティアは、20年にわたり活動しています。

中心となる活動は、博物館にある天体観測室の大型望遠鏡を使い、毎週金・土曜日に天体観察会「かつしか星空散歩」です。週2日、天体観測室を公開するのは、全国でもトップクラスの稼働率で、訪れる人々からも好評な企画です。
また、月に1〜2回は、天文についての気軽な話を楽しめる「かつしか宙(そら)トーク」を開催。学校や地元のお祭りへ出向いての観望会や望遠鏡工作教室なども行っています。毎年、文化の日などに開く「博物館まつり」では、他分野のボランティアとともに、館内でさま

博物館側が私たちに任せてくれる部分が多く、やりがいがあります

ボランティアをはじめ2年です。横浜から通っています。やっていて、とても楽しいです。博物館側が私たちに任せてくれる部分が多いので、やりがいもあります。

私自身も星空をみるのは大好きですし、自分が楽しまなきゃ、お客様にも伝わらない、って、そんな気持ちでやっています(笑)。(鈴木理子さん)

お客様の反応ですか？ はじめてのお客様で、ある天体を観た時に歓声が上がって盛り上がることもありますし、“何度でも観たい”って、来ていただいている常連のお客様もいます。

博物館から、何かやってくれ、という訳ではなくて、自分たちでこういう企画をやってみたい、という案がどんどん出てくるので、参加していて楽しいです。自由度が高くて、みんなの創意・工夫でイベント



鈴木理子さん 竹内健一さん
などが出来るので、そこが魅力です。わがままも、時には聞いてくれますし…(笑)。(竹内健一さん)



博物館まつり、天文夏まつりでの
青空散歩はいつも大人気！



望遠鏡工作教室
かつしか宙(そら)トーク

ざまなイベントを実施しています。
天文ボランティアは、現在160人程います。メンバーたちは、「観望会」「講座」「イベント」の3グループに分かれ、率先して企画を出し合い、主体性をもって運営に当たっており、博物館の良きパートナーとして活躍しています。



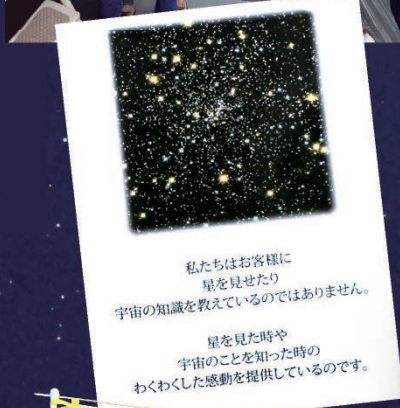
2017☆宙ニュース



かつしか星空散歩



小さな望遠鏡で、観望会を体験



- 1** 週2回、大型望遠鏡で天体観察会「かつしか星空散歩」を実施
- 2** 月に1〜2回、天文についての気軽な話を楽しめる「かつしか宙(そら)トーク」を開催
- 3** 博物館とボランティアが強固な信頼関係を築き、協働事業を推進



本の除籍作業
図書館で廃棄する本を他の
施設に寄付するための作業



ライブラリーカフェでは、本や友の会の活動に
ついて話したり、ボランティア体験ができる



講演会の様子



国際子ども図書館を見学。
会員同士が、より親しく
なる効果もあります!

活動を通じた

楽しい図書館ライフを!

図書館は出会いと学びの場



葛飾区13の学校図書室の整理なども担当。
このような活動を広く紹介するため、
広報誌「友の会通信」も発行しています。
1年の締めくくりに、一般の方も参
加できる総会を開催し、活動紹介とと
もに、新会員の入会募集をしています。

葛飾区立中央図書館でのボランテ
ア活動を通じて、区民が図書館の良き
パートナーとして交流し、学び合う場を
つくり出している葛飾図書館友の会。
約60人の本好きのメンバーが集まって、
毎月、図書館と利用者をつなぐ様々なイ
ベントを実施しています。
主な活動としては、図書館所蔵のCD
コンサートや、DVDでの映画上映会
「ナイトシアター」、テーマにちなんだ本
を紹介し合う「キーワード読書会」など
があります。ボランティアによるイベン
ト週間「友の会ウィーク」の開催や、講
演会なども実施。企画から運営まですべ
てを友の会が担当しています。児童室の
「おはなし会」も、毎月多くの子どもた
ちが楽しみにしているイベントです。そ
の他、中央図書館での本の清掃や、都立



広報委員会で編集!
「友の会通信」



ホームページ

葛飾 友の会

検索

<https://katsutomo.jimdo.com>



児童サービス応援委員会
読み聞かせ「おはなし会」



夏休み開催「自由研究おうえんたい」

“本が好き”“図書館が好き”な人に、交流の場をつくるのが目的です

区民にとって、どのような図書館になっ
たら葛飾がより魅力的になるのかを、
ずっと考え続けています。

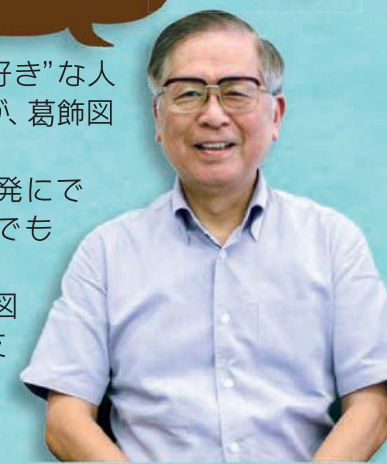
例えば、会の活動内容を話したり、書
架整理が体験できるライブラリーカフェ
の開催や、都内の珍しい図書館の見学
など、私たちのアイデアをもとに生ま
れた活動がたくさんありますよ。

図書館利用者向けのイベントも好評で、
最初はためしに行ったCD/DVDコン
サートも、今では毎月開催するよう
になりました。

“本が好き”“図書館が好き”な人
に交流の場をつくるのが、葛飾図
書館友の会の目的です。

おかげ様で、交流は活発にで
きていて、皆さんに喜んでも
らっています。

今後も、葛飾区、区立図
書館、友の会の三者が支
え合い、区民が中心のよ
り魅力的なまちづくりに
貢献したいですね。



会長：朝野 照彦さん

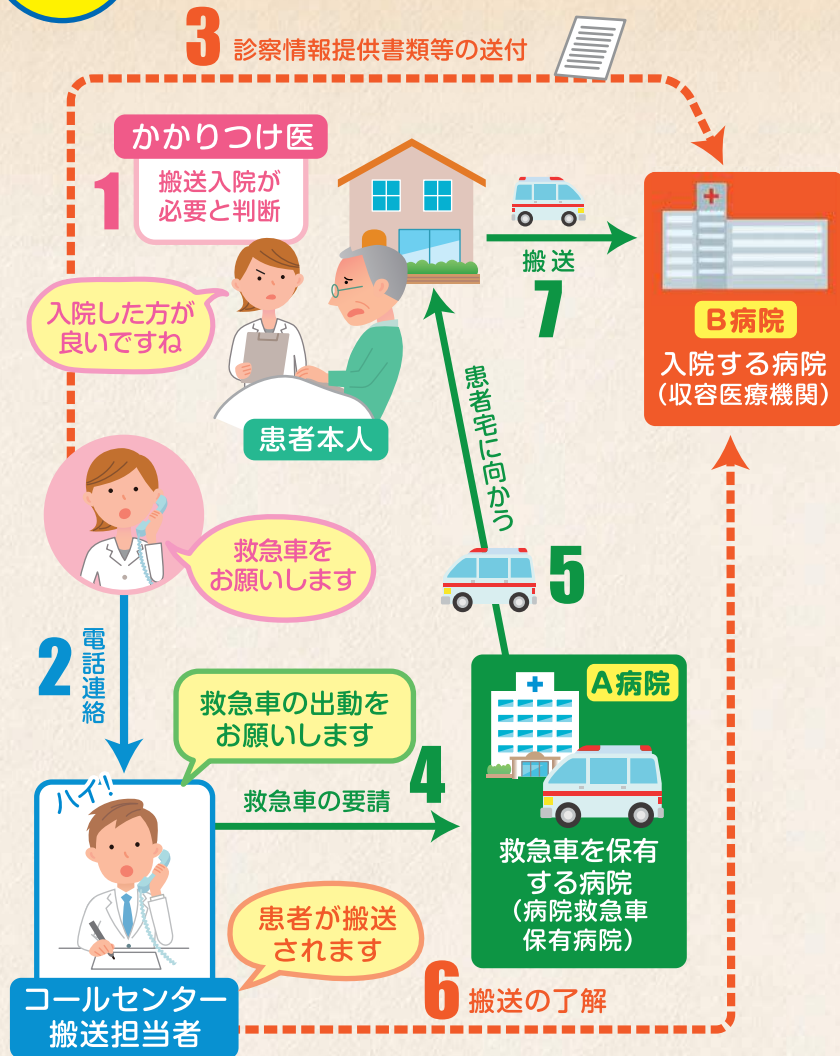


ココが
Point

1 毎月1回、本の清掃や
整理などのボランテ
ィア活動を実施

2 読書会や映画上映会
など様々なイベントの
企画・運営

3 他の図書館の見学会
を行うなど、図書館を
通じた積極的な交流



対象者
医療管理下での搬送入院が必要と判断される緊急以外の高齢者など

組みです。
平成29年11月現在、搬送を受け入れる協力医療機関が19か所、制度利用登録をした医療機関が86か所、登録患者が745人となっております。
協働事業として、区は医療や消防等の関係団体との連絡会や、周知活動を行っています。



一般社団法人
葛飾区医師会
かつしか在宅医療サポート
搬送入院システム

**在宅医療が
変わる!**
患者の搬送入院に新システム

一般社団法人葛飾区医師会は、在宅で療養患者を支える先駆的な取り組みとして、「かつしか在宅医療サポート搬送入院システム」を実施しています。
同システムは、在宅で療養生活を送る高齢の区民などが、医療機関での治療が必要になった時に、区内病院が保有する病院救急車を利用して、区内医療機関に搬送することで、区内で医療が完結することを目指す制度です。
これは事前に、かかりつけ医と本人・家族が病気や療養、希望する医療について話し合い、搬送入院システムの利用を検討し登録します。そして、かかりつけ医が搬送の必要性を判断した時には、病院救急車コールセンターへ搬送依頼の電話をします。受け入れ病院には、診断情報提供書等を送付する仕

こんな便利なシステムがあるんだよ、って。皆さんに知ってもらいたいです



理事：赤畑 正樹さん 理事：大山 高令さん

このシステムがスタートしたのは、消防署の救急車の稼働率がすごく増えてしまい社会問題になっていた平成26年です。
在宅の患者さんのところに往診の先生が呼ばれて、専門の医療機関で検査を受けさせたい、とか、入院をしたほうがいい、となった時に、消防署の救急車ではなく、病院の救急車で搬送・入院をする。そのシステムを区内に設けたい、と始まったんです。区内では、はじめてだったと思います。
今、地域包括ケア(※)の中で、かかりつ

け医をつくるのが絶対条件です。しかし、いない方もいます。そうした方は、かかりつけ医をつくり、このシステムを利用してもらうなど、地域包括ケアの一助になるきっかけになればいいと思います。
区の予算で稼働しているよいシステムですから、皆さんにもっと知ってもらいたいです。こんな便利なシステムがあるから、もっと利用してくださいね、って。



理事：青井 東呉さん

※地域包括ケアとは…
住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されること。



- ココが Point**
- 1** 「かつしか在宅医療サポート搬送入院システム」を実施
- 2** かかりつけ医と病院が連携し、在宅療養患者を支える先駆的な取組
- 3** 区は関係団体との連絡会の開催や、周知活動を行う

青色申告の普及へ

税を知る

書道展

開催



記帳相談会の様子

一般社団法人葛飾青色申告会は、個人事業主の決算・確定申告の個別相談などを行っており、会員は4400人余りです。記帳相談会や決算・申告相談会などを開催し、個人事業主をサポートすることで、正しい記帳と申告納税制度の普及を図っています。

青色申告は、個人事業主が確定申告の際、税務署承認のうえ、指定の方法で帳簿類を作成し、正確な申告をすることで、税制上の優遇が受けられる制度です。申告期間中は、税務署内特設コーナーで青色申告のPRに努めています。

このほか、葛飾税務署、葛飾区などで構成する「葛飾租税教育推進協議会」のメンバーでもあります。

毎年「税を考える週間」の行事として区内小・中学生を対象とした書道展を開催し、租税教育の推進にも力を注いでいます。書道展は、これまでに32回を重ね、学年に応じて「くみんぜい」や「みんなの税金」などを課題としています。多くの児童・生徒が参加し、平成29年度は、1396点が出品されました。

青色申告制度を知って、会員の皆さんは喜んでくれています

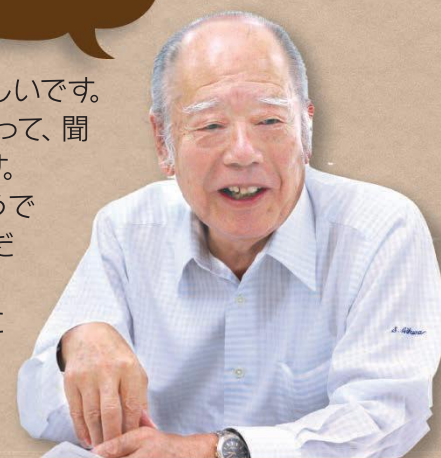
毎年、200人ぐらいずつ会員になってもらっていますが、新会員さんは、この青色申告制度を知って大変喜んでくれています。ですから、会員さんのためになっていると思いますし、社会的にも、私たちの活動は、皆さんのお役に立っている自負があります。

書道展は、子どもたちが沢山応募してくれて、毎回、盛況です。反応があるということはやりがいがありますよ。書くことによって税への関心

を持ってもらえれば嬉しいです。

青色申告ってなに？って、聞かれることもあるんです。皆さん、知っているようで知らない人も、まだまだいるんですよ。

ですから普及活動にはこれからも力を入れて取り組んでいきたいですね。



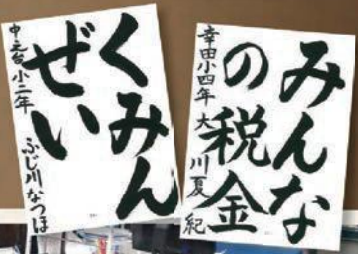
会長：相川 進二さん



1000点以上の作品が並ぶ書道展。毎年、たくさんの小・中学生が参加！

開催し、租税教育の推進にも力を注いでいます。書道展は、これまでに32回を重ね、学年に応じて「くみんぜい」や「みんなの税金」などを課題としています。多くの児童・生徒が参加し、平成29年度は、1396点が出品されました。

青色申告会は区と協働して、区民への税知識の普及や納税意識の高揚を精力的に進めています。



- ココが Point**
- 1** 「税を考える週間」に、小・中学生を対象とした書道展開催
- 2** 月例記帳相談会などの相談会を開催し、個人事業主をサポート
- 3** 確定申告期間中、葛飾税務署の青色申告コーナーでPR



投票呼びかけに
呼びかけに

ねぎらいの声と素通りと



花火大会で選挙啓発



年2回 選挙啓発紙を発行

東京都議会議員選挙の投票日前日、京成柴又駅の駅前広場で、道行く人に投票を呼び掛けている人たちがいました。葛飾区明るい選挙推進協議会のみなさんです。

協議会は区民の主権者意識の向上を促し明るい選挙が実現することを目的に活動しています。基本的にボランティアとして活動し、メンバーは啓発部会と広報部会に分かれ、19地区で164人います。

活動は、葛飾区選挙管理委員会と協働して、花火大会や盆踊りなどのイベントでウェットティッシュやポケットティッシュ、うちわなどを配布しています。

また、明るい選挙ポスターコンクールの開催や、選挙啓発紙の発行なども行っています。



低迷する若年層の投票率に歯止めをかけようと、中学生・高校生のための模擬選挙や、「はたちのじょう」での啓発活動など、年間を通して活発な活動を続けています。



明るい選挙ポスターコンクール最優秀作品を掲載した投票日周知用ポケットティッシュを配布



明るい選挙ポスターコンクール審査会



中学校・高校での模擬選挙の様子



“おつかれさま”というねぎらいの言葉に、やりがいを感じています

街頭で活動していると、“おつかれさまです”とか“暑いのに大変ですね”などと声をかけていただき、とてもやりがいを感じています。いいことをやっているんだなあ、って感じる瞬間ですね。声掛けしてくれるのは高齢の方が多いですが、反面、若い人たちに素通りされるとがっかりしますね。若い人のなかにも“ありがとう”ってしてくれる人もいますが、少ないですね。

反応はさまざまです。選挙権が18歳からになって、若い人たちの投票が増えればいいなあ、って思います。私たちが配る、投票を呼びかけるティッシュを見てくれて、少しでも投票に行こうと思ってくれれば嬉しいです。



会長：山崎 登志枝さん

- ココが Point**
- 1** 区民の主権者意識を高め明るい選挙の実現を目指す
- 2** 啓発物資(うちわ・ポケットティッシュなど)の配布で投票呼びかけ
- 3** 選挙啓発事業推進要綱で、区との協働による事業実施を定める

平成29年度実地研修の内容

花いっぱいのまちづくり



事前ガイダンスで花いっぱいのまちづくりについて理解を深めたうえで、活動者と一緒に花壇活動(花の手入れなど)や、ブーケ作り体験を行いました。

活動団体 ● 松南の森プロジェクト

かつしか区民大学(農業応援サポーター養成講座)



区民大学講座を企画検討している活発な議論の場に参加し、運営委員との意見交換を通じて区民大学の基本を学んだうえで、講座を修了し活動をしているサポーターや千葉大学の学生、講座に参加している区民と一緒に種まきなどの農作業を行いました。作業終了後、参加者と意見交換を行いました。

活動団体 ● 区民運営委員会※1
● 農業応援サポーター(講座修了者)
● 千葉大学学生(講師) ● 講座参加者

区民健康体力テスト測定会



事前ガイダンスで区のスポーツ行政について理解を深めたうえで、測定会に従事し、スポーツ推進委員と一緒に測定補助を行うとともに、研修生自身も自らの体力測定を行いました。

活動団体 ● スポーツ推進委員協議会

機械要素技術展※2



事前の企業訪問で担当企業の商品や技術について学ぶとともに、商品や技術に対する思いを深めたうえで、当日は、葛飾区ブースに訪れたお客様に対して担当企業のPRをし、簡単な質疑応答を行いました。

活動団体 ● 区内出展企業15社

※1 公募により決定した区民運営委員が区民大学の講座の企画や運営を行う委員会です。

※2 東京ビッグサイトにて行われた、ねじ・バネなどの部品や金属・樹脂に関する加工技術を有する企業を一同に集めた専門展覧会です。

問い合わせ

人材育成課

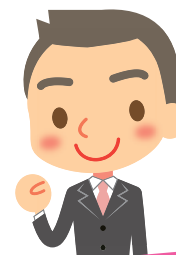
電話 03-5698-2611

採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します!!

目的

葛飾区では、新人から管理監督者までの職員を対象に、協働意識の醸成を図る研修を実施しています。特に、採用2年目の職員は、区民・事業者と協働で研修を実施しています。

これは、区内の団体や企業等が活動する現場に赴き、活動されている皆さんと同じ作業を行い一緒に汗を流すことで、皆さんがどのような思いを持って活動に携わっているのかを肌で感じ、その体験を今後の仕事にどう活かしていくかを考えていくものです。



採用2年目

内容

- 1 導入研修**
協働について理解を深め、本研修の目的や学習テーマを明らかにする(5月)
- 2 実地研修(区内活動団体等への派遣)**
団体等が活動する現場に赴いて区民の声を直接聞くことで、協働のパートナーに対する理解と知識を深めるとともに、区の現状と課題を知る(5~7月)
- 3 振り返り研修**
これまでに学習したことを自らの仕事の中で活かすため、個々の体験や学びを共有するとともに、体験の意味を明らかにし、協働に対する意識を更に高めていく(8月)

研修生の感想

区と団体が一体となって、同じ目的を持って取り組んでいるのを肌で感じました。

区民がやりがいを持ち、活躍できる場を提供することが、職員にとって必要だと感じました。



登録団体募集中!!

葛飾区公式協働ホームページ 葛飾みんなの協働サイト



葛飾みんなの **協働** サイトとは…

葛飾区では、区内で地域貢献活動をしている自治町会や区民活動団体、NPO、事業者等のみなさんが情報発信会員として団体登録し、団体自らが活動内容やイベント、ボランティア募集などの情報をタイムリーに紹介することができる、「葛飾みんなの協働サイト」を、平成29年に開設しました。

ホームページを持たない団体でも、このホームページに会員登録し、活用いただくことで、広く情報発信をすることができます。

区では、情報発信会員として登録を希望する団体を募集しています。

登録を希望する団体や、このホームページについて知りたい方は、葛飾みんなの協働サイト (<https://kyoudou.city.katsushika.lg.jp/>) をご覧ください。



問い合わせ

政策企画課(協働推進担当)

電話 **03-5654-8177**

協働推進担当からのお知らせ

葛飾区職員出前講座の ご案内



職員 出前講座とは…

区では、かねてよりさまざまな方々によって、地域を良くしようとする活動が行われてきました。区民・事業者の皆さんと区が「協働」することで、こうした活動を一層素晴らしいものにすることができます。

協働するためには、まず区の現状や取り組みなどの情報を共有することが大切です。

葛飾区職員出前講座は、区職員が皆さんの地域に伺い、区の現状や取り組みについてお話しするものです。



さまざまな講座をご用意しています。どうぞお気軽にご利用ください。講座一覧を掲載しているパンフレットは、区役所、区民事務所、地区センター、図書館で配布しております。パンフレットは、区公式ホームページ (<http://www.city.katsushika.lg.jp/>) でもご覧いただけます。